

日刊金属

ステン
レス

関西Ni系ステンレススクラップ市況 発生難やニッケル相場上昇も価格は上がらず メーカーの減産による購入量減少が圧迫

関西のニッケル系ステンレススクラップ市況は各問屋にとって厳しい状況が続いている。

足元の国内メーカー向けスクラップ価格は炉前価格で11万5,000円～12万円どころが中心となっており、輸出向けの国内価格は12万3,000円～12万5,000円どころが中心となっている。また専業問屋向けの価格は10万5,000円～11万円どころが中心となっている。

前月初め前後に国内メーカーが買値を引き下げてから価格には動きはないようだが、長引く国内景気の低迷による新規スクラップの発生難やLMEニッケル相場の上昇、為替相場の円安進行など価格が上がりやすい条件が揃っているにもかかわらず、メーカー側は引き上げる気配が見られないという。

その原因として見られているのは各メーカーが製品の売れ行きが悪いことから減産

体制をとっており、それがそのまま購入量の減少に繋がっていることが挙げられる。また輸出向けを見ても、「国内の減産に合わせて需要が減っているので、成約自体は少ない」(ある大手商社筋)といふ。

更に12月は年末商いもあって月末に近づくに連れて薄商いになりやすいうことや年明け1-3月期も、「メーカーが決算を控えていることもあり、製品の売れ行きが大きく好転するとかでも無い限り、価格の引き上げは期待しづらい」(前出の大手商社筋)との声や「海外ニッケル相場の暴騰などなら可能性はあるが、現状の海外ニッケル相場の上昇ではメーカーは価格を上げてこないだろう」(ある大手問屋)との声も聞かれ、「今は問屋にとって最も悪い時期」(前出の大手問屋)となっている。

11月のアルミスクラップレポートおよび12月の見通し 橋本金属×アルミ 橋本健一郎氏

予測レンジはLME現物後場買いが
1900-2200ドル、スクラップは
前月最終価格より据え置き

■概況:前半は10月のユーロ圏製造業景況感指数(PMI)が1カ月連続で50を下回った事、9月の独鉱工業生産が2カ月連続で悪化した事、さらにユーロ圏の鉱工業生産が-2.5%だった事などマイナスも多かったが、10月の中国鉱工業生産や小売売上高の好結果などプラスに反応し1975ドル(現物後場買い)と約70ドル上昇しての前半締めとなった。

後半はハリケーン「サンディ」の被害やムーディーズによる仮債の格下げなどマイナスもあったが11月の米建築会社景況感が6年ぶりの高水準だった事、10月の米住宅着工数が予測に反して好調だった事、さらに米クリスマス商戦ブラックフライデー(黒字の金曜)が好調な滑り出しだった事を好感し上昇。12月3日現在、LME(現物後場)が2083ドルと108ドル急騰してのスタートとなつた。

■前月の経済指標:日本自動車工業会によると自動車生産台数は前月比-2.3%の79

発行所	有 限 会 社 メタル情報センター
本社	〒530-0043 大阪市北区天満2-12-3 南末広ビル3階E号 電話(06)6353-7831(代表) FAX(06)6353-7832
東京支社	〒104-0033 東京都中央区新川1-1-31-8 ニックハイム茅場町 電話(03)3523-0442(代表) FAX(03)3523-0443
購読料	6ヶ月 36,750円 前金 3ヶ月 18,900円

万2166台であった。日本自動車販売協会連合会によると自動車販売台数(軽除く)は前月比+8.1%の24万3974台(前年比-3.3%)。国土交通省によると新設住宅着工戸数は前月比(季節調整済み)+13%(昨年比+25.2%)の84251戸であった。

貿易指標では財務省貿易統計によれば、輸出はアルミ新地金が前月比-49.4%の117t、2次合金が-41.2%の650t、スクラップが+24.3%の14697t。輸入は新地金が前

Copper “セツツ”はALLOYの専門商社。

専門商社だから出来る豊富な品揃えと的確な在庫管理は進化を続ける、日本産業にもスピーディに対応します。

海、陸、空。そして未来へ…

“セツツ”では特にアルミニウム青銅合金(アームスブロンズ)を重点にその優れた特性で様々な業界、あらゆる分野の発展に寄与。舞台は宇宙へ、深海へ。“セツツ”は未来の夢を支えます。

連続鋳造鋼合金、ダイカスト製品ほか少ロット製品も迅速対応
在庫常時600t・CopperALLOYのことなら

SSM 摂津特殊金属株式会社

〒534-0013 大阪市都島区内代町4-6-22

TEL 06(6955)3751代表 FAX 06(6955)5557

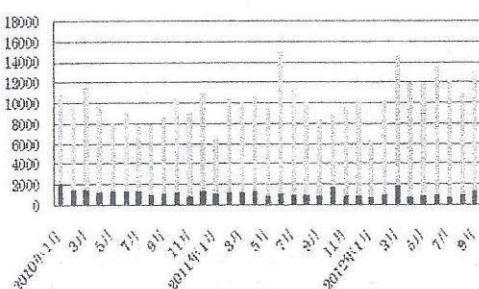
在庫センター:大阪市都島区都島北1-20-25

<http://www11.ocn.ne.jp/~settu/index.html>

輸出	8月	9月	10月
新地金	144t	231t	117t
前月比	-12.2%	+60.4%	-49.4%
二次合金	842t	1116t	650t
前月比	+33.4%	+32.5%	-41.2%
スクラップ	10101t	11820t	14697t
前月比	-12.3%	+17%	+24.3%

アルミ輸出推移

■スクラップ
■2次合金
■新地金



月比-20.9%の12万3405t、2次合金が+16%の8万7916t、スクラップが+105%の1181t、合金スクラップは+32%の3890tとなつた。

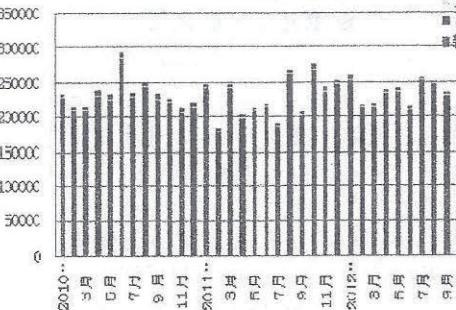
また前月の国内指標では、日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向による板類・押出生産合計は前月比+6.7%の17万3064t(昨年対比+1.6%)。日本アルミニウム合金協会発表のアルミニウム2次合金・同合金地金等生産実績は前月比+1.8%の6万6670t(昨年対比-9.1%)であった。

■見通し:11月は自動車生産はさらに二桁悪化、販売の方も-3.3%とまだ減少基調(前年比)住宅関連は先月の悪化から一転、前月比(季節調整済み)+15.3%(昨年比+25.2%)の84251戸、復興需要も伴って大幅増。欧州懸念はIMF国債通貨基金と欧州銀行がギリシャ救済に関して、大幅譲

	8月	9月	10月
生産台数	73万5999台	77万3980台	79万2166台
前月比	-20.2%	+5.2%	-2.3%
昨年対比	+4.5%	-12.4%	-12.4%
	9月	10月	11月
販売台数	28万8478台	22万5549台	24万3974台
前月比	+24.1%	-21.8%	+8.1%
昨年対比	-8.1%	-9%	-3.3%
	8月	9月	10月
新設住宅着工数	7万7500戸	7万4176戸	8万4251戸
季節調整 前月比	+21%	+15.3%	+13%
昨年対比	-5.5%	-2.5%	+25.2%
	8月	9月	10月
輸入			
新地金	14万9617t	15万5940t	12万3405t
前月比	-8%	+4.2%	-20.9%
二次合金	9万8646t	7万5827t	8万7916t
前月比	+41%	-23.1%	+16%
スクラップ	649t	576t	1181t
前月比	+30.8%	-11.2%	+105%
合金スクラップ	2729t	2945t	3890t
前月比	-1.9%	+1.9%	+32%

アルミ輸入推移

■合金スクラップ
■スクラップ
■2次合金
■新地金



渡、無事合意に至ったことから懸念は一旦後退。ただゼネストなどの不確定要因が多く予断は禁物。自動車生産は前年比-2.3%の79万2166台と前月に続き、前年割れまだ下げ止まる気配はなし。

また国内自動車販売台数が24万3974台とこちらも前年比-3.3%と悪化。自動車関連のアルミ2次合金生産は引き続き昨年対比-9.1%と3カ月連続の減少、今後も販売台数の減少による急減の可能性あり。その他、住宅・家電需要が見込める圧延・押出品生産数は前月比+6.7%の17万3064t。昨年対比+1.6%と住宅市場の回復を受けて小幅上昇。新設住宅着工数は季節調整前月比+13%の8万4251戸 前年比は+25.2%と前月に続き大幅増加。

輸入は新地金が前月比-21%の12万3405t、自動車関連の2次合金は+16%の8万7916t、スクラップは+105%の1181t、合金スクラップは+32%の3890t。輸出は新地金が前月比-49%の117t、2次合金が-41%の650t、スクラップが+24%の1万4697t。内需の発生難を受けて輸入が大幅増、アルミ原料需給に関しては先月に続き新設住宅着工数が前年比+25%と2カ月連続大幅回復の兆しあり、最大の需要家である自動車メーカーの自動車販売が+8.1(前月比)-3.3%(前年比)と大やや下げ止まつてはいるものの2次合金生産が-9.1%(前年比)と今後も販売減少による買い気薄の可

能性あり以上から現在は中国領土問題における輸出の支障はないが自動車生産の先行き不透明感や年末からの正月休暇 さらにここ最近の価格高騰を受けてメーカー購入姿勢は慎重。

LME価格に関してはやはり「米国財政の崖問題」という事になるのだがこちらは無事に通過しても織り込み済みで、新規大型材料難から上値は直近高値の2200ドル、下値は仮に財政の崖でゴタつくような事があれば貯金の安値まで下げが考えられ1900ドルを予測。スクラップ価格については11月後半価格から据え置き+3-5円程度の値上げがあるとしても来年では、と見ている。

新 断 鉄 ダ ライ 高価買取します

(株)エイワ産業

〒577-0536 東大阪市浪川町2-2-2
電話 06-7891-8180
FAX 06-7891-8170

海外

香港取引所によるLME買収 英金融サービス機構が承認

ロンドン金属取引所(LME)及び香港取引所は11月29日、香港取引所によるLMEの買収に関して英国の金融規制機関である金融サービス機構(FSA)が承認したことを発表した。

英國高等法院が12月5日に開く聴聞会で承認が下されば、香港取引所によるLMEの買収は早くも翌日6日に発効となる。

ただ、両取引所の発表によると満たすべき条件がいくつか残っており、2013年3月15日までに高等法院の承認が得られなかった場合には廃案になり、LMEの買収が成立しない可能性もある、としている。

	減摩合金 鉛滓・半田滓 錫滓・鉛管板屑
株式会社 國樹商店	
〒556-0011 本社 大阪市浪速区難波中1-16-8 電話 06-6649-0045 代表	
〒556-0023 工場 大阪市浪速区稻荷1-11-5 電話 06-6561-7331～2	